



Press Release

2014年8月19日 AM0:01解禁

今年のアース・オーバーシュート・デーは8月19日 ～自然資源の消費量が、地球の生物生産力を超える日～

【スイス・グラン発】

国際シンクタンク「グローバル・フットプリント・ネットワーク」は、2014年については、8月19日が、人間による自然資源の消費量が、地球が一年間に再生産できる量をほぼ超えた日「アース・オーバーシュート・デー」とであると発表しました。

この日をもって、私たちはいわば今年1年分の資源を使い果たしたということになり、2014年の残りの期間は、地球がもたらす生態系サービスを“赤字状態”で使っていくこととなります。「アース・オーバーシュート・デー」は、年々早まっており、21世紀を目前にした2000年には10月1日だったのが、2013年には8月20日になり、今年はさらにそれよりも1日早い到来となりました。

WWFインターナショナルの事務局長マルコ・ランベルティーニは「自然は私たち人類の幸福と繁栄の基礎となるものですが、人類は地球の有限な資源をあまりに多く使いすぎています。子どもたちに健全で明るい未来を残すためにも、このかけがえのない母なる地球を大切に、今ある自然資本を守っていかなければなりません」と警鐘をならします。

「アース・オーバーシュート・デー」は、人間が地球の許容量を超えて資源を利用してしまっていることを一般の人々に広く知らせ、改善をうながすことを目的に、「グローバル・フットプリント・ネットワーク」が毎年設定しているもので、人間の自然資源に対する需要と環境への圧力をしめす「エコロジカル・フットプリント」のデータを基に、日にちを算出しています。

9月の終わりごろ、WWFは人間活動によって地球がどれほど影響を受けているかを表す『生きている地球レポート2014』を発表する予定です。

「人間の需要は地球が持続可能な水準を明らかに超えています。私たちにはまだ行動できることがあります。持続的に資源を利用しながら、豊かな未来を築くことができます」とランベルティーニは述べます。

WWFが設立された1961年の時点では、人間は地球が供給可能な自然資源の3分の2しか消費しておらず、多くの国では生態学的なゆとりがありました。人間が環境に与える負担「エコロジカル・フットプリント」は小さく、持続可能なものだったのです。しかし現在の状況は持続可能というには、ほど遠い方向へと向かってしまっています。

森林は減少し、淡水資源は減少しています。土地は劣化し、生物多様性は失われつつあります。同時に、地球が吸収できないほど大量の二酸化炭素を排出する化石燃料に私たちは頼り続けています。今、私たちが行動をおこせば、この状況から抜け出すことができます。生態学的な許容の範囲内で暮らす世界へと変えていくために、私たちは各自が重要な役目を担う必要があります。

WWFは、浪費的な消費をあらため、生物多様性を守り、人と自然が調和して生きられる未来を築くことを目的に、再生可能エネルギーへの転換や、「FSC (Forest Stewardship Council[®]: 森林管理協議会)」、「MSC (海洋管理協議会)」といった認証製品を選択することなどを通じた自然資源の持続可能な利用を呼びかけています。

■参考資料

- ・ WWF 『生きている地球レポート2012』 : <http://www.wwf.or.jp/activities/2012/05/1062715.html>
- ・ WWFジャパン 「日本のエコロジカル・フットプリント報告書2012」 : <http://www.wwf.or.jp/activities/2012/12/1106511.html>

■グローバル・フットプリント・ネットワーク(GFN)とは

持続可能性の指標である「エコロジカル・フットプリント」の発展・普及を通じ、持続可能な経済の構築を目指すNPO団体。パートナー団体と協力してさまざまな調査研究・方法論の標準化を図り、経済活動が地球生態系の許容範囲内で行われるよう、資源勘定（バランスシート）の提供を通じて政策決定者へ提言している。

*グローバル・フットプリント・ネットワークのサイト（英語） : <http://www.footprintnetwork.org/en/index.php/GFN/>

■この件に関するお問合せ

- ・ WWF ジャパン 広報室 Tel: 03-3769-1714 / press@wwf.or.jp
- ・ グローバル・フットプリント・ネットワーク 日本支部（沖縄）
伊波克典 研究員 メール : Katsunori.Iha@footprintnetwork.org